

かつどうめい
活動名

や すぎ 焼き杉

<活動の特長>

- ・ 森林を守るために、木を伐採する間伐が行われています。この活動では、藤野の間伐材を地元の製材所で加工していただき、それを材料として焼き杉を作ります。活動を通して、森林の役割や間伐の意義について考えることができます。
- ・ 杉の木は加工しやすいことなどから、古くから山に植え、利用されてきました。また、焼くことによりくさりにくく丈夫になるという効果があります。その効用を生かした焼き杉づくりを通して、木の特徴や性質に気づいたり、木を無駄なく活用してきた先人の知恵を学んだりすることができます。

<めあての例>

- ・ 自然
「間伐の意味を知り、先人の知恵に
思いをはせながら焼き杉をつくろう」



<大まかな活動の流れ>

①めあて・作業手順・注意事項を

確認しよう



森林を守るために間伐を行うんだね。その間伐した木を使うんだね。

どんな作品にしようかな？

②火を起こし、間伐材を焼こう

むらのないように焼こう！



③焼き上がった後、金ブラシで

みがこう

木目に沿って、黒い粉が出なくなるまでみがくといいね。



間伐材は、焼き杉にすると新たな「いのち」をふき込むことができるね。

資源をむだにしないということにつながるね。



④水道水で洗い、ぞうきんでふこう



黒い粉が出なくなるまで、よく洗って、乾いたぞうきんでふいていくよ。

⑤かわかそう



しっかりかわかそう！

⑥まとめ・振り返りをしよう

次へのステップ

間伐材は他にどんなものに使われているのかを調べてみよう！

<メモ>

- ・火を使用するので、やけど防止のため、長袖長ズボンを着用します。
- ・火起こしの際は、滑り止めのゴムの部分が溶ける可能性があるため、滑り止めのない軍手を使用します。

